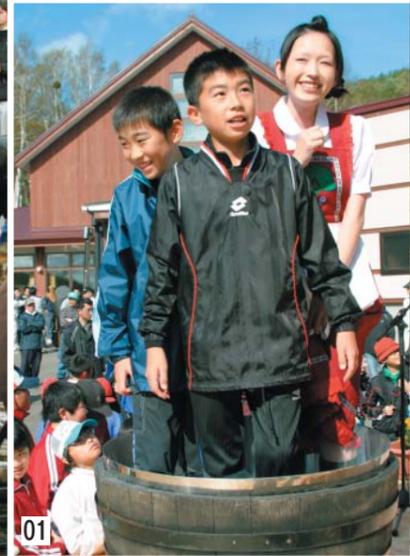




## くずまき高原森林の恵みフォーラム —薪・巻・牧—トリプル薪フェスタ2009



# 考えよう 森の利活用

## 育てよう 豊かな森林

### にぎやかに感謝の祭典

01 森のこだま館では、くずまきワインの新社員が扮するワイン娘と一緒にぶどう踏み体験。「おいしいワインになってね」 02 第1回「新そば早食い大会」はざるそば1\*に胃袋自慢12人が挑戦。遠藤中さん(31歳・新町出身)も盛岡から駆け付けて「こりゃ、いっぱいだ〜」とびっくり。5分44秒で優勝した樋ノ口浩静さん(48歳・小田)は「まだまだ食べられます。今度は自分で打ってすずらん工房のみんなにごちそうします」と、賞品を手にとりこり。駅構内では葛巻婦人会(鳩岡八重子会長)が無料で振る舞った「そばがき」や「へっちょこ団子」に長蛇の列 03 JRバス葛巻駅構内の第2回全日本薪積み選手権大会のテーマは「風」。3人一組の8チームが15分間で通気性や安定性、芸術性を競った結果、風車を表現した役場農林環境エネルギー課チームに栄冠。景品は「炭一人6\*」。会場には約1000人が訪れ、声援を送りながら競技の行方を楽しそうに見守った 04 11日、講演の後行われたお菓子まき増田寛也前岩手県知事(右から二人目)と妻の満喜さん(右)も登場。前知事は駅構内で「元気が出る地域づくり」、満喜さんは前日、森のこだま館で「山村の食の魅力」と題して講演 05 町内4カ所目の企業の森「えいわの森」が誕生。首都圏でストーブを販売する(株)永和の富井忠則社長(左)と望月正彦盛岡地方振興局長、鈴木重男町長が森林保全協定を締結。富井社長は「全国で最も注目されている葛巻町のパートナーとして参加できてうれしい。町の理念にかなうよう一層森を愛し、守り、育てて企業として貢献していきます」と力強く誓った。

### 森林の恵みどっさりと

森林とのふれあい体験会場となった「こいわの森」では、約200人が山の作業に奮闘した。薪の運び出しでは、小学生や父母らが一列に並んで「気合いだ〜気合いだ〜」と声を掛けながら笑顔で薪を手渡した。のこぎりを使った丸太切りやおのを使っての薪割りにも取り組んでコツをつかんだ小学生は満足した様子。菅野一樹君(葛巻小5年)は「薪割りは中心をとらえるのが難しかったけど、だんだん上手になった」と喜んだ。大人たちは山を元気にと、粉炭まきも行った。

「森林は地球の財産。この森林の利活用をもう一度考え、しっかりと育てよう」  
森林の恵みフォーラム「薪・巻・牧」トリプル薪フェスタ2009(町産業振興協議会、町森林組合主催)で中崎和久町森林組合長は声高らかに呼び掛けた。十月十日と十一日の両日、森のこだま館やJRバス葛巻駅構内で増田寛也前岩手県知事と妻満喜さんの講演会や森林体験、森林の恵みを存分に味わう多彩な催しで、町内は二日間ぎわった。町内の小学生や町内外から駆け付けた葛巻ファンなど約千人が森林の恵みに感謝し、その利活用を考えながら、豊かな森林を次代に送ろうと決意を新たにされた。

### 参加者に聞きました



●田村えい子さん(岩手町在住) くずまき高原里山実行委員会で、森林の利活用を学んでいます。葛巻の山が大好きで、楽しく活動しています。



●田代翔太くん(吉ヶ沢小1年) みんなで力を合わせて薪運びをしました。生の薪は重くてちょっと疲れたけど「働かって楽しいな」



●西村専次さん(体験会場を提供した小岩金網(株)社長) 森林活性化のため粉炭まきに挑戦。生まれた町に、企業として役に立ててうれしいです。



●栗田幸智さん夫妻(栃木県から参加) 葛巻は5回目。町の発展が素晴らしく、町民の皆さんが訪れる人をとても大切にしてくれるのでうれしいですね。



①薪で炊いたキノコたっぷりの「ひつつみ汁」 ②おいしいと評判の「そばがき」 ③小学生の親たちも参加して薪の運び出し ④ヤマブドウの収穫体験「いっぱい採れて楽しかった」と参加者